

1963 年東大理 5

図 i) のように座標を設定し、 $P(x, y)$ とし、 PU と x 軸の交点を R とする。

Q の座標は $(x - (a - y), a)$ 、 R の座標は $(x + y, 0)$ である。

$$Q \text{ が } AD \text{ と交差するとき } 0 \leq x - y + a \leq a \quad \therefore x \leq y \leq x + a \quad \text{--- ①}$$

$$R \text{ が } BC \text{ と交差するとき } 0 \leq x + y \leq a \quad \therefore -x \leq y \leq -x + a \quad \text{--- ②}$$

①、② および $0 \leq x \leq a, 0 \leq y \leq a$ より、 P の存在範囲は図 ii) の網掛部になる。

次に、折線 TPU によって正方形 $ABCD$ の面積が二等分されるとき

$$\frac{1}{2} \{x + (x + y)\}y + \frac{1}{2} \{x + (x - y + a)\}(a - y) = \frac{a^2}{2}$$

$$(2x + y)y + (2x - y + a)(a - y) = a^2$$

$$2xy + y^2 + 2ax - 2xy - ay + y^2 + a^2 - ay = 2y^2 + 2ax - 2ay + a^2 = a^2$$

$$ax - ay + y^2 = 0 \quad \therefore x = \frac{1}{a} y(a - y) = -\frac{1}{a} \left(y - \frac{a}{2}\right)^2 + \frac{a}{4} \quad (0 \leq y \leq a) \quad \text{--- ③}$$

③ を図示すると図 iii) 中の太線の通りで、図 ii) の範囲に含まれる。

また、 PU が AB と交わるとき、図 iv) の網掛部には $\triangle BCD$ が含まれ、面積が半分より大きいのは明らかである。

以上により、③の曲線に沿って P を動かせば、線分 PQ が通過する範囲は

図 v) の網掛部である。この面積は

$$\frac{a^2}{2} - \frac{1}{a} \int_0^a y(a - y) dy = \frac{a^2}{2} - \frac{1}{a} \cdot \frac{a^3}{6} = \frac{a^2}{3} \quad \dots\dots (\text{答})$$

$$x = -\frac{1}{a} \left(y - \frac{a}{2}\right)^2 + \frac{a}{4}$$

